

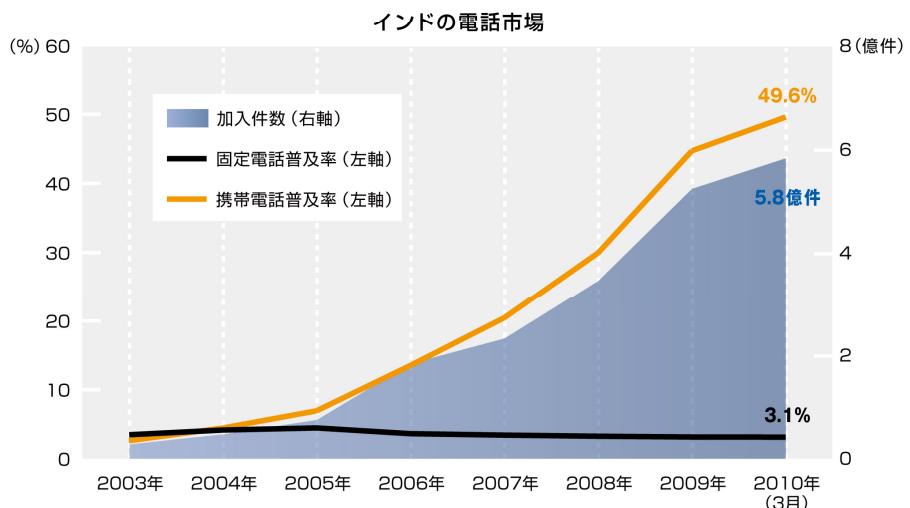
インドの携帯電話普及率が5割へ



インドの携帯電話普及率が急上昇しています。2007年以降、携帯電話の加入者が毎年1億人を越えるペースで増え続け、今年の3月には普及率が49.6%にまで上昇しました。国民のほぼ半数が携帯電話に加入していることになります。一方で、固定電話の普及は3%台にとどまっており、多くの国民が、固定電話に加入することなく携帯電話を利用し始めていることが分かります。

インドの携帯電話市場の飛躍的な拡大の背景には、通信会社による製品やサービスの充実のほか、消費者の所得増加が挙げられます。インドの国民1人あたりの所得は2008年度が40,141ルピーと、前年度に比べて約13%の増加となりました（インド中央統計機構のデータに基づく）。所得が4万ルピーの大台にのったのは史上初で、日本円に換算すると10万円弱に相当します。

携帯電話の普及は今後のインドの経済成長にプラスに働くとの見方があります。インドには「インフラ整備」のほか、農村から都市に労働者が移る「都市化」や識字率の向上による「労働生産性の上昇」など経済成長の要素が数多くあります。これに加えて、情報通信の環境整備に一役買っている携帯電話の普及はインド経済の成長を後押しする要因となりそうです。



出所：インド電気通信監理局(TRAI)、期間2003年12月～2010年3月

インドルピーの為替レートをウェブサイト「グローバルマップ」でチェック www.gsam.co.jp

